

平成 28 年度

当 初 予 算 の 概 要

～ もりおかの元気を引き継ぐ 子ども子育て応援予算 ～



平成 28 年 2 月

盛 岡 市

目 次

1	平成 28 年度当初予算編成の基本的な考え方	1
	(1) 本市の置かれている状況	
	(2) 予算編成の基本的な考え方	
2	予算の規模	3
	(1) 一般会計	3
	(2) 特別会計	4
	(3) 企業会計	5
3	一般会計予算の概要	6
	(1) 歳入の状況	6
	概要／市税／譲与税・交付金／地方交付税	
	／国庫・県支出金／市債	
	(2) 歳出の状況	10
	概要／人件費／扶助費／公債費／普通建設事業費	
	／その他	
	(3) 主要 3 基金の状況	14
	(4) 市債残高見込	14
4	重点的に取り組む施策（戦略プロジェクト）	15
	(1) 子育て応援プロジェクト	15
	(2) きらり盛岡おでんせプロジェクト	19
	(3) いわて国体おもてなしプロジェクト	21
5	主な事業	23
	(1) 人がいきいきと暮らすまちづくり	23
	(2) 盛岡の魅力があふれるまちづくり	28
	(3) 人を育み未来へつなぐまちづくり	30
	(4) 人が集い活力を生むまちづくり	32
	(5) 自治体経営の取組	38

1 平成 28 年度当初予算編成の基本的な考え方

(1) 本市の置かれている状況

○ 国及び県内の景気動向

内閣府が平成27年12月に発表した2015年7-9月期の実質国内総生産（GDP）では、前期比プラス0.3%（年率換算ではプラス1.0%）と、前期のマイナス0.3%からプラスに転じ、緩やかながらも景気回復の様子がうかがえます。また、平成28年1月の月例経済報告において、前月に引き続き「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とされており、こちらでも回復傾向の判断が示されています。ただし、先行きについては「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される」など、今後の景気動向に対して期待感が示される一方で、「中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある」という前月の表現に「金融市場の変動の影響に留意する必要がある」という文言が付け加えられるなど、不安定な状況が生じる可能性についても示唆しています。

県内景気の動向については、平成28年1月の県内経済情勢報告によると「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」とされ、前回（平成27年10月）に比べると「緩やか」の文言が追加されており、景気回復の速度の鈍化がうかがえます。個別の項目においては、設備投資や雇用について回復傾向が見られるものの、平成27年10～12月期の企業の景況判断では、製造業が「下降」に転じたことで、全産業で「下降」超幅が拡大するとともに、先行きでも全産業で「下降」超で推移する見通しとなっています。

○ 国の地方財政計画

平成27年12月に国が示した平成28年度地方財政計画^(※1)では、地方税について、景気回復により3.2%の増を見込んでいます。また、地方交付税については0.3%の減、臨時財政対策債については16.3%の大幅な減となっています。その他の収入見込みを加味した最終的な地方一般財源総額では0.2%増と、前年度をやや上回る水準を確保する内容とされています。

○ 盛岡市の財政見通し

盛岡市の28年度の財政見通しにおいては、歳入では、法人市民税の法人税割分の税率改正はあるものの、個人市民税や固定資産税の増により、市税収入では0.6%の増が見込まれます。また、地方消費税交付金についても21.1%の増が見込まれますが、地方交付税については、市税収入や各種交付金等とのバランスから11.9%の減を見込んでいます。また、歳出では、扶助費や介護保険費特別会計への繰出金などの社会保障関係経費のほか、今秋の国体開催に係る経費など増加が続いております。

また、平成27年11月に策定した、平成32年度までを対象期間とする「盛岡市中期財政見通し」^(※2)においても、歳出は今後も扶助費や公債費などの義務的経費が増加傾向であるのに対して、歳入では合併市町村への地方交付税の算定の特例（合併算定替）^(※3)期

間が終了することによる地方交付税の減額などがあり、財源の不足が見込まれることから、より厳しい財政運営が求められています。

(2) 予算編成の基本的な考え方

平成 28 年度の予算編成に当たっては、平成 27 年度からスタートした新しい総合計画の推進、特に子育て応援や国体開催などの「戦略プロジェクト」に重点的に取り組むため、多くの事業費が見込まれることから、あらゆる手段を講じて歳入の確保に努めるとともに、従来からの継続的な取組みとなる事業効果や効率性、住民ニーズ等をあらためて検証し、事業の廃止や縮小の見直しを進めました。

これに加えて、戦略プロジェクト評価結果を基にした予算の重点化に対応した予算編成方法とすべく、従来の施策別予算配分方式において生じている様々な課題の段階的な解消に向け、予算査定方式による事業費の総点検（精査）を行い、適正な事業経費の予算化を図ることとしました。



-
- ※1) 「地方財政計画」とは、毎年度、国が作成する地方公共団体全体の歳入歳出の見込みで、地方公共団体の財政運営の指針となるものです。
- ※2) 「盛岡市中期財政見通し」とは、盛岡市が目指すまちの実現や、市民サービスの質の維持向上を図るためには、安定した財政基盤が不可欠なことから、本市を取り巻く環境や様々な課題等を踏まえながら、財政の健全性と安定性を確保する方策を明らかにし、中期的な財政運営や予算編成の参考となるよう、定期的に策定しているものです。最も新しい中期財政見通しは、平成 27 年 11 月に策定したもので、平成 28 年度から 32 年度までの 5 ヶ年を策定期間としています。
- ※3) 「合併市町村への地方交付税の算定の特例（合併算定替）」とは、合併年度とこれに続く 10 年間に合併関係市町村が、なお合併前の区域をもって存続した場合に算定される額の合計額を下回らないように算定されるもので、その後の 5 年度については激変緩和期間とされているものです。盛岡市においては、玉山村と平成 18 年 1 月に合併しましたので、平成 27 年度までが算定の特例期間となり、平成 28 年度以降は激変緩和期間として、平成 32 年度までに段階的に減額されることとなります。

2 予算の規模

	平成 28 年度当初予算額 ①	平成 27 年度当初予算額 ②	増減率①／②
一般会計	111,188,000 千円	111,330,000 千円	△0.1%
特別会計	61,171,610 千円	59,595,096 千円	2.6%
企業会計	30,765,651 千円	30,558,043 千円	0.7%
全会計合計	203,125,261 千円	201,483,139 千円	0.8%

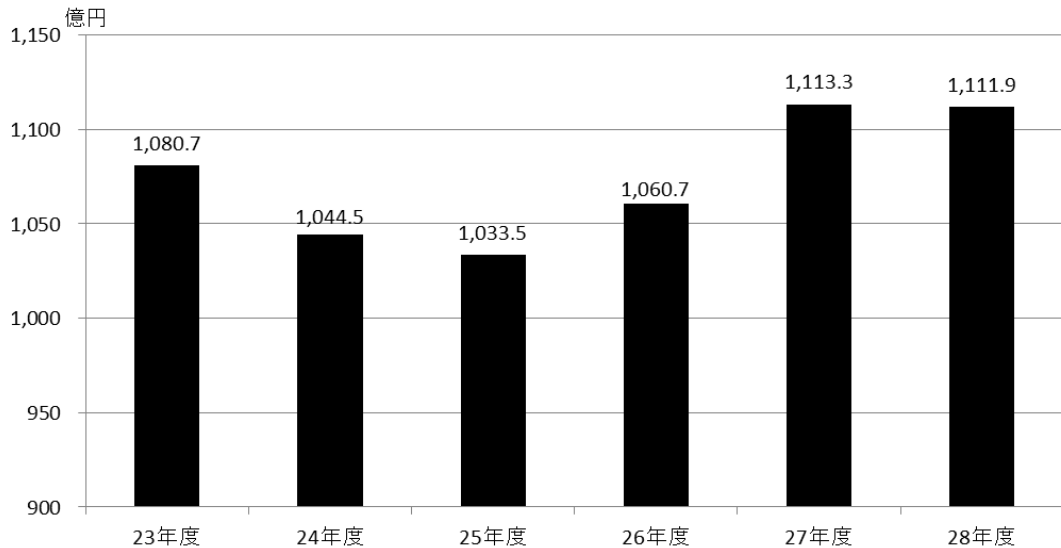
※企業会計の予算額については、収益的支出と資本的支出の予算額の合算額を記載しています。

(1) 一般会計

平成 28 年度当初予算額は、子ども・子育て事業に係る扶助費等の増加や、国体実行委員会への補助金の増などにより、国民体育大会に向けたスポーツ施設の整備や小中学校の耐震補強工事の終了に伴う普通建設事業費の大幅な減額があった中で、総額では前年度の当初予算と比較して、1 億 4,200 万円 (0.1%) 減の 1,111 億 8,800 万円に留まり、7 年連続で 1,000 億円を超えるとともに、過去最大であった昨年度と、ほぼ同規模の予算となっています。

※ 一般会計予算の概要については、6 ページ以降に記載しています。

<予算規模の推移(当初予算ベース)>



※ 各年度の予算額は、百万円の単位で四捨五入しているため、実際の予算額と異なる場合があります。

<予算の増減率の推移(当初予算ベース)> (単位: %)

年度		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
歳入歳出 予算増減率	盛岡市	6.5	△3.3	△1.1	2.6	5.0	△0.1
	地方財政計画	0.5	△0.8	0.2	1.8	2.3	0.6

※ 地方財政計画の増減率は、通常分のものになります (震災対応分は含んでいません)。

(2) 特別会計

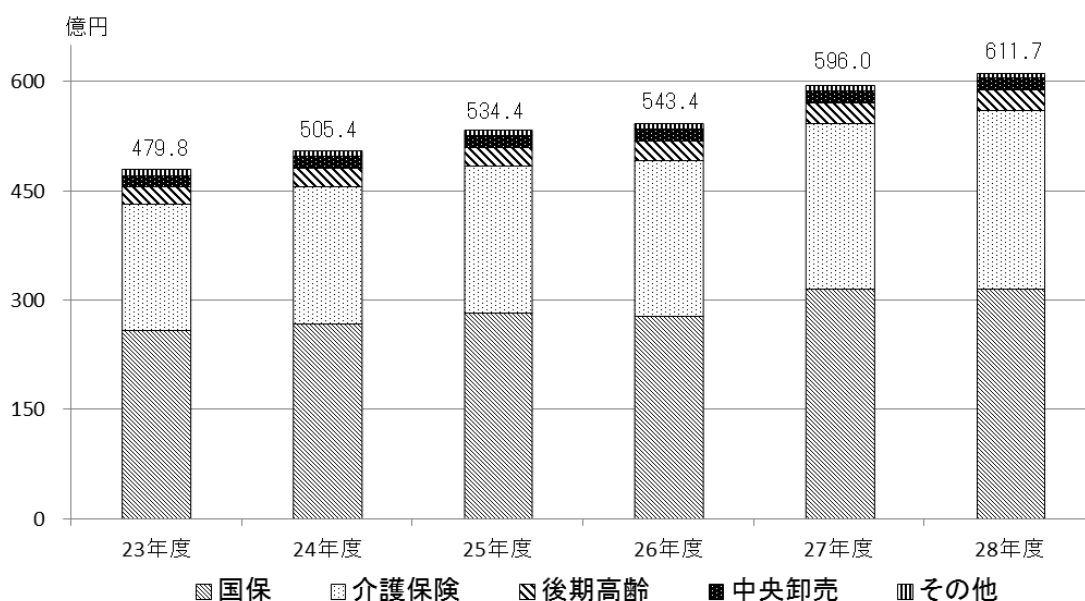
公設浄化槽事業費特別会計における浄化槽新規整備の終了による減額，土地取得事業費特別会計における旧競馬場用地取得に係る償還の終了に伴う減額の一方で，介護保険費特別会計における給付費の増加などにより，特別会計 10 会計の合計で，前年度当初予算と比較して，15 億 7,651 万 4 千円（2.6%）増の，611 億 7,161 万円となりました。

〈特別会計予算総額の比較（当初予算ベース）〉

（単位：千円）

	平成 28 年度 予算額	平成 27 年度 予算額	比較増減	伸率 (%)
公設浄化槽事業費	8,492	32,106	△ 23,614	△ 73.6
農業集落排水事業費	517,769	531,300	△ 13,531	△ 2.5
母子父子寡婦福祉資金貸付 事業費	64,137	75,774	△ 11,637	△ 15.4
国民健康保険費	31,648,507	31,625,547	22,960	0.1
介護保険費	24,408,112	22,720,162	1,687,950	7.4
後期高齢者医療費	2,893,164	2,864,457	28,707	1.0
中央卸売市場費	1,614,738	1,630,931	△ 16,193	△ 1.0
土地取得事業費	13,310	111,438	△ 98,128	△ 88.1
東中野財産区	2,677	2,677	0	0.0
東中野，東安庭，門財産区	704	704	0	0.0
合 計	61,171,610	59,595,096	1,576,514	2.6

〈特別会計予算総額の推移（当初予算ベース）〉



※ 各年度の予算額は，百万円の単位で四捨五入しているため，実際の予算額と異なる場合があります。

(3) 企業会計

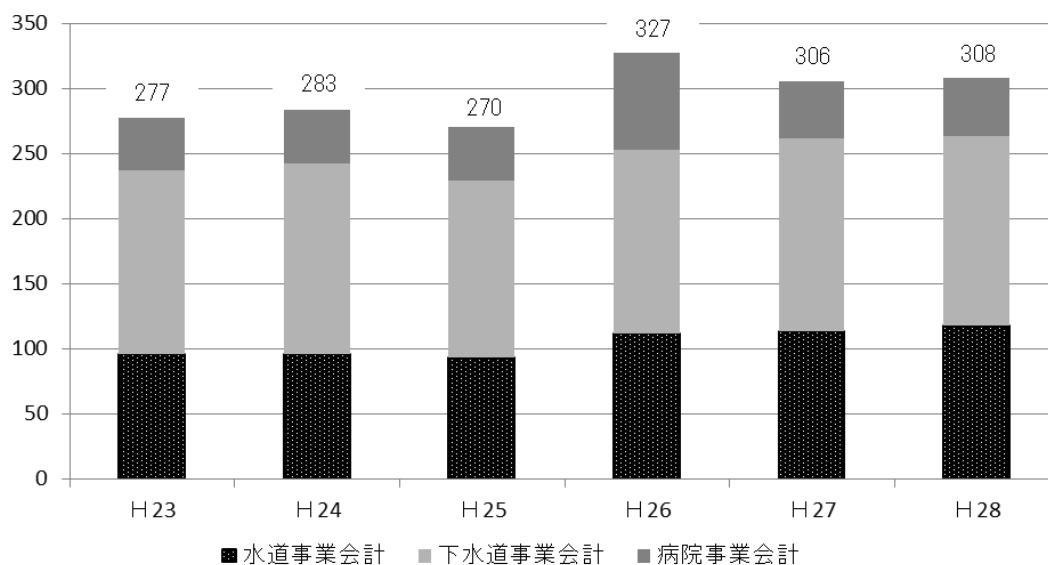
水道事業会計の資本的支出予算において、将来の施設更新の財源とするための長期資金運用の予算が増額となったため、企業会計3会計における各々の収益的支出予算額と資本的支出予算額の合計でも、前年度当初予算との比較で2億760万8千円(0.7%)増の、307億6,565万1千円となりました。

〈企業会計支出予算額(合計)の比較(当初予算ベース)〉

(単位:千円)

		平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	比較増減	伸率(%)
水道 事業	収益的支出	6,595,090	6,628,851	△33,761	△0.5
	資本的支出	5,157,169	4,644,701	512,468	11.0
	支出計	11,752,259	11,273,552	478,707	4.2
下水道 事業	収益的支出	8,071,548	7,983,655	87,893	1.1
	資本的支出	6,467,073	6,870,775	△403,702	△5.9
	支出計	14,538,621	14,854,430	△315,809	△2.1
病院 事業	収益的支出	3,900,044	3,890,920	9,124	0.2
	資本的支出	574,727	539,141	35,586	6.6
	支出計	4,474,771	4,430,061	44,710	1.0
合計	収益的支出	18,566,682	18,503,426	63,256	0.3
	資本的支出	12,198,969	12,054,617	144,352	1.2
	支出計	30,765,651	30,558,043	207,608	0.7

〈企業会計支出予算額(合計)の推移(当初予算ベース)〉



※ 各年度の予算額は、百万円の単位で四捨五入しているため、実際の予算額と異なる場合があります。

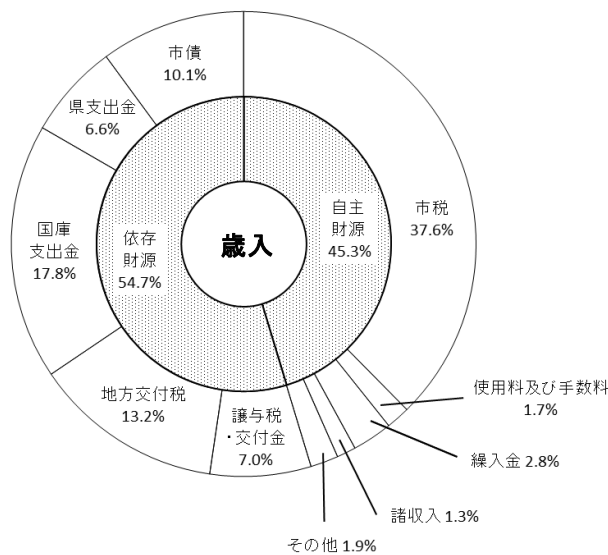
3 一般会計予算の概要

(1) 歳入の状況

歳入全体では、市税等の自主財源^(※4)については、市税の増額が見込まれるほか、基金からの繰入金や分担金及び負担金の増額などにより、前年度当初予算と比較して、17億7,807万3千円、3.7%の増となる見込みです。歳入全体に占める割合も、前年度当初予算と比較して、1.6%増の45.3%となっています。

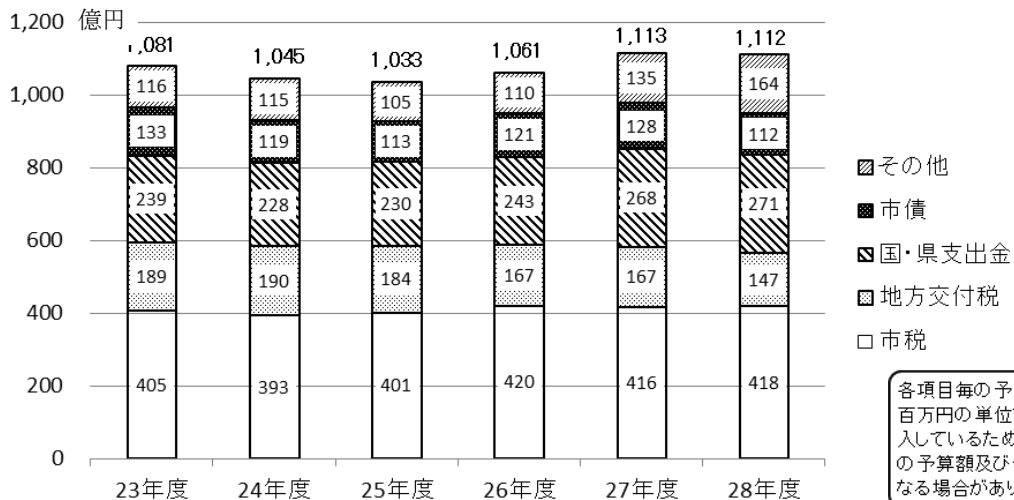
また、依存財源^(※5)については、地方消費税交付金や県支出金などの増額が見込まれる一方で、地方交付税や国庫支出金の減額が見込まれることから、19億2,007万3千円、3.1%の減となる見込みです。

〈28年度歳入予算の構成〉



(単位: 千円)	
市税	41,821,593
使用料及び手数料	1,841,087
繰入金	3,096,294
諸収入	1,474,885
その他	2,153,260
自主財源計	50,387,119
譲与税・交付金	7,808,216
地方交付税	14,679,233
国庫支出金	19,783,648
県支出金	7,322,905
市債	11,206,879
依存財源計	60,800,881
合計	111,188,000

〈歳入項目毎の推移 (当初予算ベース)〉



※4 自主財源：市税や市施設の利用料などのように、市が自主的に徴収できる財源をいいます。

※5 依存財源：地方交付税、国や県の交付金などのように、一定の額を交付されたり、割り当てられる財源をいいます。

① 市税 418 億 2,159 万 3 千円 (27 年度 415 億 7,690 万 9 千円)

市税収入は、市民税では、県内景気の緩やかな回復傾向に基づいた個人市民税の増や、法人市民税法人税割の算定の基礎となる法人税の税率変更に伴う減を見込んだほか、固定資産税については、土地の分が地価公示の動向から減が見込まれる一方で、評価替え終了による家屋分の増が見込まれることから、市税総額では対前年度比で 2 億 4,468 万 4 千円、0.6%の増収となる見通しです。

〈主要税目毎の収入見込額〉

(単位:千円)

	平成 28 年度 当初予算額	平成 27 年度 当初予算額	増減額	増減率
個人市民税	15,798,258	15,535,758	262,500	1.7%
法人市民税	4,523,467	4,889,544	△366,077	△7.5%
固定資産税	16,450,755	16,191,898	258,857	1.6%
軽自動車税	570,762	467,398	103,364	22.1%
市たばこ税	2,143,722	2,185,277	△41,555	△1.9%
入湯税	56,514	55,967	547	1.0%
都市計画税	2,060,559	2,032,824	27,735	1.4%
その他	217,556	218,243	△687	△0.3%
計	41,821,593	41,576,909	244,684	0.6%

② 譲与税・交付金 78 億 821 万 6 千円 (27 年度 64 億 9,417 万 4 千円)

過年度の交付状況等をもとに、総務省から示される地方財政計画の内容等を勘案して推計した結果、地方消費税交付金の増が見込まれるほか、地方譲与税や配当割交付金などでも増額が見込まれることから、対前年度比で 13 億 1,404 万 2 千円、20.2%の増となる見通しです。

〈主な項目毎の収入見込額〉

(単位:千円)

	平成 28 年度 当初予算額	平成 27 年度 当初予算額	増減額	増減率
地方譲与税	879,519	812,682	66,837	8.2%
利子割交付金	66,820	58,644	8,176	13.9%
配当割交付金	294,018	134,395	159,623	118.8%
地方消費税交付金	6,127,463	5,058,594	1,068,869	21.1%
自動車取得税交付金	129,330	122,624	6,706	5.5%
地方特例交付金	124,795	165,859	△41,064	△24.8%
その他	186,271	141,376	44,895	31.8%
計	7,808,216	6,494,174	1,314,042	20.2%

③ 地方交付税 146 億 7,923 万 3 千円 (27 年度 166 億 5,340 万 6 千円)

地方交付税は、総務省から示される地方財政計画の内容や本市の税収見込み、過年度の交付状況等を勘案して推計した結果、普通交付税と特別交付税を合わせた総額で、対前年度比で 19 億 7,417 万 3 千円、11.9%の減となる見通しです。

なお、交付税の代替財源であり、後年度に元利償還金が交付税措置されることから、実質的に普通交付税に含まれる臨時財政対策債を加えた額では、前年度比で 21 億 7,786 万円、10.3%の減となる見通しです。

〈地方交付税の交付見込額〉

(単位：千円)

	平成 28 年度 当初予算額	平成 27 年度 当初予算額	増減額	増減率
地方交付税総額	14,679,233	16,653,406	△1,974,173	△11.9%
普通交付税	13,043,533	15,012,784	△1,969,251	△13.1%
特別交付税	1,635,700	1,640,622	△4,922	△0.3%
臨時財政対策債	4,316,079	4,519,766	△203,687	△4.5%
計	18,995,312	21,173,172	△2,177,860	△10.3%

④ 国庫・県支出金 271 億 655 万 3 千円 (27 年度 267 億 9,050 万 8 千円)

学校の耐震補強工事の終了など普通建設事業費の減額に伴う負担金の減が見込まれるものの、扶助費に対する負担金の増額や国体開催経費に係る県補助金の増額が見込まれるため、国庫支出金と県支出金の合計額では、対前年度比で 3 億 1,604 万 5 千円、1.2%の増となる見通しです。

〈国庫・県支出金の交付見込額〉

(単位：千円)

	平成 28 年度 当初予算額	平成 27 年度 当初予算額	増減額	増減率
国庫支出金 計	19,783,648	19,999,782	△216,134	△1.1%
扶助費分	14,591,909	14,382,835	209,074	1.5%
普通建設事業分	4,388,896	4,753,615	△364,719	△7.7%
その他分	802,843	863,332	△60,489	△7.0%
県支出金 計	7,322,905	6,790,726	532,179	7.8%
扶助費分	3,583,636	2,686,759	896,877	33.4%
普通建設事業分	490,548	894,623	△404,075	△45.2%
その他分	3,248,721	3,209,344	39,377	1.2%
計	27,106,553	26,790,508	316,045	1.2%

【増減額が大きい主な項目（国庫支出金）】

※ () 内の数字は増減額

- 子どものための教育・保育給付費負担金 2,016,701 千円 (389,962 千円増)
- 保育所等整備交付金 260,531 千円 (皆増)

- 子ども・子育て支援交付金 198,367 千円 (69,743 千円増)
- 保険基盤安定負担金 244,944 千円 (152,364 千円増)
- 臨時福祉給付金支給事業費補助金 171,738 千円 (△148,644 千円)
- 街路事業費交付金 324,500 千円 (△243,787 千円)
- 個人番号制度実施に係る補助金 41,572 千円 (△113,680 千円)
- 耐震補強事業費交付金 0 千円 (△563,739 千円～皆減)

【増減額が大きい主な項目 (県支出金)】

- 子どものための教育・保育給付費負担金 1,008,350 千円 (944,755 千円増)
- 第 71 回国民体育大会本大会等補助金 841,167 千円 (442,651 千円増)
- 子ども・子育て支援交付金 198,367 千円 (148,601 千円増)
- 岩手県公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金 0 千円 (△257,992 千円～皆減)
- 緊急雇用創出事業費補助金 0 千円 (△255,766 千円～皆減)

⑤ 市債 112 億 687 万 9 千円 (27 年度 127 億 8,286 万 6 千円)

市債発行額は、アイスリンクなどの国体開催に向けた施設整備や小中学校校舎の耐震補強工事などが終了したことに伴う普通建設事業の減少により、前年度比で 15 億 7,598 万 7 千円、12.3%の減となる見通しです。

〈市債の発行見込額及び市債依存度〉

(単位：千円)

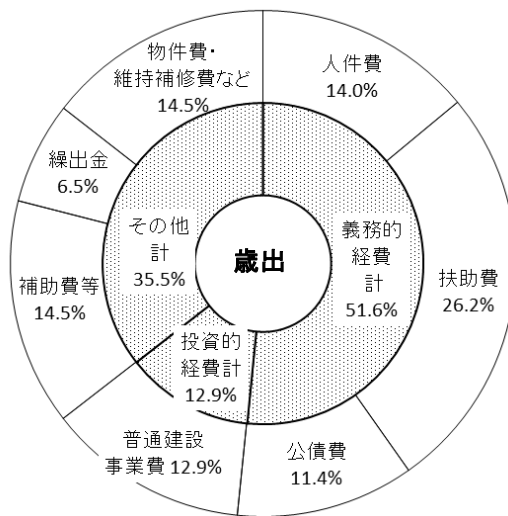
	平成 28 年度 当初予算額	平成 27 年度 当初予算額	増減額	増減率
市債合計 (A)	11,206,879	12,782,866	△1,575,987	△12.3%
臨時財政対策債	4,316,079	4,519,766	△203,687	△4.5%
その他(事業債)	6,890,800	8,263,100	△1,372,300	△16.6%
歳入合計 (B)	111,188,000	111,330,000	△142,000	△0.1%
市債依存度 (A/B)	10.1%	11.5%	(1.4 ポイント減)	
臨時財政対策債を除く	6.2%	7.4%	(1.2 ポイント減)	

(2) 歳出の状況

歳出のうち、義務的経費^{※1}は、扶助費が引き続き伸びる見込みであるものの、人件費と公債費が減額の見込となったため、前年度当初予算と比較して、4億603万3千円、0.7%の減となる見込みです。なお、歳出全体に対する義務的経費の割合は51.6%と、前年度に比べると0.3ポイントの減となっています。

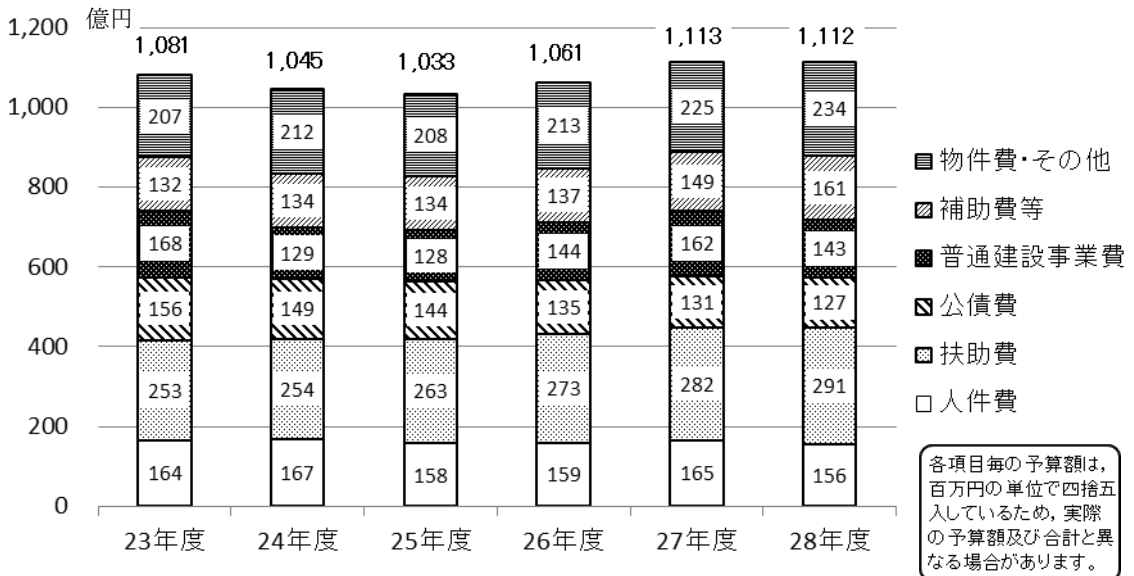
また、投資的経費^{※2}も、アイスリンク等国体開催に関連する施設整備や、小中学校に係る耐震補強工事の終了に伴い、18億1,321万5千円、11.2%の減となる見込みです。

〈28年度歳出予算の構成〉



(単位: 千円)	
人件費	15,574,177
扶助費	29,074,290
公債費	12,697,299
義務的経費計	57,345,766
普通建設事業費	14,349,113
投資的経費計	14,349,113
補助費等	16,113,396
繰出金	7,264,103
物件費	13,472,948
維持補修費	644,496
積立金	1,324,576
投資及び出資金	138,950
貸付金	484,651
予備費等	50,001
その他計	39,493,121
歳出合計	111,188,000

〈歳出項目毎の推移 (当初予算ベース)〉



※1 義務的経費：生活扶助などの各種扶助に要する扶助費、職員などの人件費、市の借入金返済に充てる公債費のことです。これらの経費は経常的に歳出が義務づけられ、あるいは任意に削減することができない経費であり、この割合が高くなると、財政構造の硬直化を招くおそれがあります。

※2 投資的経費：道路、学校、公営住宅の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費のことです。

① 人件費 155億7,417万7千円 (27年度 164億6,243万2千円)

人件費は、前年度に引き続き国体開催に向けた体制整備に伴う人員確保や、被災地への職員派遣を見込んだ一方で、定年退職予定者の減少による退職手当の減額が見込まれたことから、28年度では、前年度予算と比較して8億8,825万5千円、5.4%の減となっています。

〈人件費の推移〉

(単位：百万円)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
人件費	16,440	16,681	15,766	15,878	16,462	15,574
対前年度増減額	△45	241	△915	112	584	△888
対前年度比	△0.3%	1.5%	△5.5%	0.7%	3.7%	△5.4%

② 扶助費 290億7,429万円 (27年度 282億2,596万円)

認定こども園等への運営費給付事業が対象施設の増加により増額見込みとなったほか、障がい者自立支援に係る給付事業費の増や、新たに小学生の通院分医療費に係る給付事業を行うことなどにより、児童手当支給事業や生活保護事業など減額する事業があるものの、前年度予算と比較して8億4,833万円、3.0%の増となっています。

〈扶助費の推移〉

(単位：百万円)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
扶助費	25,300	25,374	26,263	27,328	28,226	29,074
対前年度増減額	1,260	74	889	1,065	898	848
対前年度比	5.2%	0.3%	3.5%	4.1%	3.3%	3.0%

【増減額が大きい主な事業】 ※ () 内の数字は増減額

- 私立児童福祉施設等運営事業 5,234,306千円 (434,879千円増)
- 認定こども園等運営費給付事業 1,144,923千円 (401,413千円増)
(前年度事業名称「子どものための教育・保育給付事業」)
- 介護給付等給付事業(障がい者自立支援) 2,720,772千円 (195,569千円増)
- 小学生医療費給付事業 150,000千円 (138,000千円増)
- 障がい児通所給付費等給付事業 530,000千円 (132,956千円増)
- 臨時福祉給付金支給事業 171,738千円 (△148,644千円)
- 児童手当支給事業 4,308,800千円 (△141,200千円)
- 生活保護事業 7,909,774千円 (△65,726千円)

③ 公債費 126億9,729万9千円 (27年度 130億6,340万7千円)

平成7年度に道路整備に伴って借入れた資金(一般単独事業債/臨時地方道整備)の償還が終了するなど、前年度予算と比較して3億6,610万8千円、2.8%の減となっています。

なお、市債の発行にあたっては、市債残高が増えないよう取組むほか、後年度にその元利償還金の一部が地方交付税で措置される市債を発行し、実質的な負担軽減に努めており、平成 28 年度の市債償還金に算入される交付税額は、73 億円程度と試算しています。

〈公債費の推移〉

(単位：百万円)

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
公債費	15,587	14,944	14,352	13,472	13,063	12,697
対前年度増減額	△164	△643	△592	△880	△409	△366
対前年度比	△1.0%	△4.1%	△4.0%	△6.1%	△3.0%	△2.8%

④ 普通建設事業費 143 億 4,911 万 3 千円 (27 年度 161 億 6,232 万 8 千円)

平成 28 年度においては、(仮称)見前南地区公民館や渋民運動公園、向中野小学校などの施設整備を予定しているものの、アイスリンクの建設や小中学校の耐震補強工事が終了したことにより、普通建設事業費としては、対前年度比で 18 億 1,321 万 5 千円、11.2%の減となっています。

〈普通建設事業費の推移〉

(単位：百万円)

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
普通建設事業費	16,842	12,923	12,767	14,405	16,162	14,349
補助事業	8,557	2,822	7,092	8,252	9,722	8,602
単独事業	8,285	10,101	5,674	6,153	6,440	5,747
対前年度増減額	3,549	△3,919	△156	1,638	1,757	△1,813
補助事業	5,307	△5,735	4,270	1,160	1,470	△1,120
単独事業	1,758	1,816	△4,427	479	287	△693
対前年度比	26.7%	△23.3%	△1.2%	12.8%	12.2%	△11.2%
補助事業	163.3%	△67.0%	151.3%	16.3%	17.8%	△11.5%
単独事業	△17.5%	21.9%	△43.8%	8.4%	4.7%	△10.8%

※ 補助事業とは、国及び県の補助を受けて市が行う事業です。

単独事業とは、市が単独で行う事業です(県の補助金を活用する場合があります)。

【増減額が大きい主な事業(補助事業)】

- 道明地区生活環境整備事業(交付金) 271,671 千円(205,019 千円増)
- 渋民運動公園総合体育館耐震・天井改修工事 147,000 千円(139,833 千円増)
- 向中野小学校施設整備事業(補助分) 138,703 千円(皆増)
- 社会資本総合交付金事業(街路) 605,400 千円(△443,500 千円減)
- 小中学校耐震補強事業(補助分) 0 千円(△1,108,856 千円～皆減)

【増減額が大きい主な事業(単独事業)】

- (仮称)見前南地区公民館整備事業 339,440 千円(311,140 千円増)

● 浜民運動公園整備事業	307,150 千円 (127,296 千円増)
● 向中野小学校施設整備事業 (単独分)	145,769 千円 (118,591 千円増)
● 若園町分庁舎改修工事	250,000 千円 (237,000 千円増)
● アイスリンク整備事業	0 千円 (△1,181,040 千円～皆減)
● 小中学校耐震補強事業 (単独分)	0 千円 (△ 361,141 千円～皆減)

⑤ その他

補助費等は、国民体育大会盛岡市実行委員会への補助金の増額や、中央消防署建設に係る建設費償還の開始に伴う盛岡地区広域消防組合負担金の増額などにより、対前年度比で11億9,389万円、8.0%の増となっています。

また、高齢者人口の増加に伴い、介護保険費特別会計及び後期高齢者医療費特別会計への繰出金の合計が、対前年度比で1億9,775万3千円、5.0%の増となっているほか、国民健康保険費特別会計への繰出金も、1億4,795万2千円の増となったため、繰出金全体でも、対前年度比で3億3,020万4千円、4.8%の増となっています。

なお、積立金については、市全体で子どもの健やかな成長を応援するために創設する「子ども未来基金」へ1億円を、また「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」に基づいて、今後必要と見込まれる財源の一部として、公共施設等整備基金へ10億円を積立てることから、対前年度比で10億8,475万円、452.3%の増となっているものです。

(3) 主要3基金の状況

(単位：千円)

	27年度末 現在高見込	28年度予算		28年度末 現在高見込
		取崩額	積立額	
財政調整基金	10,172,217	2,722,018	7,041	7,457,240
市債管理基金	283,073	2,146	4,166	285,093
公共施設等 整備基金	585,592	290,999	1,000,233	1,294,826

- 財政調整基金 : 不測の収入減や支出増加に対応するための基金
- 市債管理基金 : 市債の償還のための基金
- 公共施設等整備基金 : 公共施設の整備のための基金

※ 上記3基金は、盛岡市で設置している各種基金のうち、用途がそれほど限定されておらず、様々な財政需要に比較的柔軟に対応できる基金になります。

(4) 市債残高見込

(単位：千円)

	27年度末 現在高見込	28年度中増減		28年度末 現在高見込
		発行見込額	償還見込額	
一般会計	131,799,208	11,206,879	11,216,096	131,789,991
特別会計	10,600,679	0	1,265,099	9,335,580
公設浄化槽事業費 特別会計	81,007	0	918	80,089
農業集落排水事業 費特別会計	3,802,009	0	339,113	3,462,896
母子父子寡婦福祉 資金貸付特別会計	120,948	0	0	120,948
中央卸売市場費特 別会計	6,596,715	0	925,068	5,671,647
企業会計	64,464,694	1,468,500	5,561,386	60,371,808
水道事業会計	13,702,368	0	1,288,098	12,414,270
下水道事業会計	45,013,523	1,380,800	3,796,261	42,598,062
病院事業会計	5,748,803	87,700	477,027	5,359,476

※ 市債残高見込みは、当初予算編成時の予算ベースです。今後の補正予算や事業費の繰り越しなどに伴う増減は考慮されていません。

4 重点的に取り組む施策（戦略プロジェクト）

平成 27 年度からの盛岡市総合計画では、より効果的に計画を推進するために、盛岡市として施策を横断して戦略的に取り組むべき事柄について「戦略プロジェクト」としてまとめ、概ね 3 年を目途に、優先的に事業に取り組むこととしています。

予算編成においても、総合計画の目指す将来像である「ひと・まち・未来が輝き、世界につながるまち盛岡」の実現に向け、総合計画の推進と歩調を合わせ、限られた財源を最大限有効に活用する必要があることから、平成 28 年度当初予算編成においては、盛岡市として昨年度に引き続き戦略的に取り組むとされた 3 つのプロジェクトに対して、重点的な予算の配分に努めました。

(1) 子育て応援プロジェクト

2,779,930 千円

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実します。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現するためのプロジェクトです。

具体的な事業名及び事業費

□ 子ども未来基金造成事業【新規】（子ども未来課） 100,000 千円

市全体で子育てを応援するために基金を創設し、子どもの健やかな成長に資する取組を支援します。

□ 子育て世代包括支援センター事業【新規】 （子育て世代包括支援センター） 10,289 千円

妊娠、出産、子育て期にわたる母子保健や育児に関する様々な悩み等に対応するため、面接や訪問等を通じて、保健師等が専門的な見地から継続的な支援を行います。

また、この事業を中心に、既存の事業を「子育て世代包括支援センター実施事業」としてまとめることで、各々の事業の連携を強化し、より効果的な子育て支援を目指します。

<参考：子育て世代包括支援センター実施事業（事業費合計 106,023 千円）>

- 子育て世代包括支援センター事業 ※再掲 10,289 千円
- 地域子育て支援センター事業 60,123 千円
- ファミリーサポートセンター事業 8,544 千円
- 子育て応援パスポート事業 97 千円

- つどいの広場管理運営事業 18,640 千円

上記の四つの事業では、子育ての悩み相談や子育て情報の提供を市立とりょう保育園や私立保育園等7園に委託して行うとともに、育児の相談が気軽にできる相手や仲間が集まる場所（つどいの広場）を開設運営します。また、保護者が仕事と育児等を両立できるような地域での相互援助を支援するほか、市内の協賛企業・店舗の独自の特典サービスを受けられる応援パスポートを発行して、子育て世帯の負担の軽減を図ります。

- 母子保健事業 1,051 千円
- 周産期保健相談強化事業 1,926 千円
- 絵本の読み聞かせ事業 394 千円

上記の三つの事業では、「マタニティぶっく」や「子育てぶっく」の発行のほか、助産師が妊産婦や保護者の周産期の不安や育児の悩み等への専用電話による相談対応を行います。また、1歳6か月児集団健診に合わせて絵本の読み聞かせを行い、親と子のふれあいの場を提供します。

- 乳児家庭全戸訪問等事業 ※別掲 4,959 千円

□ 小学生医療費給付事業（通院分）【新規】（医療助成年金課） 149,443 千円

小学生の通院医療費分について、保険で診療を受けた際に支払った自己負担分の一部（非課税世帯は全額）を給付します。

※これまでの入院費に加えて、平成28年度からは対象を拡大し、通院の医療費分についても給付を行うものです。

□ 予防接種事業（小学生インフルエンザ予防接種補助）【新規】
（保健予防課） 15,000 千円

インフルエンザの罹患の大きな割合を占める子どもに対する予防接種を進めるため、費用の一部助成について、平成28年度からは、小学6年生まで対象を拡大して実施します（従来は未就学児まで）。

□ 私立児童福祉施設整備助成事業【拡充】（子育てあんしん課） 369,249 千円

新設や改築等を予定している私立保育所等に建設費の補助を行います。

- 新設2施設（宇宙心会保育所／定員60人、
いちご会小規模保育所／定員19人）
- 改築1施設（みたけ保育園／定員130人）
- 大規模修繕1施設（盛岡幼稚園）

□ 認定こども園等運営費給付事業【拡充】（子育てあんしん課） 1,144,923 千円

子ども・子育て支援新制度施行に伴い、私立幼稚園から移行した認定こども園9園と、新設される地域型保育事業所10か所に対して、子どものための教育・保育給付を支給します。

- 特別保育事業（延長保育実施補助）【拡充】（子育てあんしん課） 120,265 千円

市内私立保育所や小規模保育施設等において延長保育を実施する場合に、要する経費に対して補助金を交付します。

※28年度は延長保育実施施設を12施設増やし、64施設とする予定です。

- 乳児家庭全戸訪問等事業【拡充】（子育て世代包括支援センター） 4,959 千円

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供及び養育環境等の把握を行い、該当する家庭の孤立化を防ぎます。

- 待機児童解消強化事業（子育てあんしん課） 7,215 千円

前年以上に定員を超えた受入を行った保育園に対して、新採用保育士への一時金支給や研修受講職員の代替として臨時職員を任用したりする費用の助成を行います。

- 私立児童福祉施設等運営事業（処遇改善等加算）
（子育てあんしん課） 122,790 千円

保育士の確保に向けて、保育園が行う給与等の処遇改善に要する費用について、運営費助成の加算措置を行います。

- 子ども・子育て支援事業計画推進事業（子ども未来課） 1,218 千円

盛岡市子ども・子育て支援事業計画の円滑な推進を図るとともに、子ども・子育て支援新制度で創設された利用者支援事業及び子育て支援員等の研修を実施します。

- 小児救急輪番制病院事業（保健所企画総務課） 154,182 千円

休日、夜間等における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を確保するために、輪番制で診察にあたる公的病院等に対して運営費の助成を行います。

- 夜間急患診療所管理運営事業（保健所企画総務課） 70,929 千円

夜間の初期救急医療を確保するため、午後7時～午後11時30分まで、内科医及び小児科医を配置し、年中無休で応急的な診療を行う夜間急患診療所の運営を行います。

- 予防接種事業（幼児インフルエンザ予防接種補助）（保健予防課） 16,814 千円

インフルエンザの罹患の大きな割合を占める子どもに対する予防接種を進めるため、引き続き0歳～未就学児を対象とする費用の一部助成を行います。

□ 医療給付事業（妊産婦，乳幼児，小学生入院分）

492,654 千円

（医療助成年金課）

妊産婦，乳幼児，小学生（入院分）について，保険で診療を受けた際に支払った自己負担分の一部（非課税世帯，乳幼児の3歳未満児分は全額）を給付します。

歴史、自然、文化、先人、まち並みをはじめとする、本市の恵まれた観光資源を生かし、盛岡の魅力に触れ、満足してもらうため、新たな観光資源の開発や掘り起こし、ブラッシュアップを推進します。

また、北陸、北海道新幹線の開業をチャンスと捉え、盛岡のきらり光る魅力を発信し、MICE（マイス）の誘致を通じ更なる交流人口の増加と盛岡ファンづくりを推進していくための戦略プロジェクトです。

具体的な事業名及び事業費

- 観光客誘致宣伝事業 1,537 千円
 (北海道新幹線開業による函館誘客事業)【拡充】(観光交流課)

北海道新幹線の開業にあたり、観光客誘致に向け、函館グルメサーカスへの出店や盛岡さんさ踊りの派遣を行い、盛岡の魅力のPRを行います。

- 盛岡三大麺普及事業【拡充】(経済企画課) 795 千円

盛岡の三大麺である「わんこそば」「盛岡冷麺」「盛岡じゃじゃ麺」の普及を推進するため、盛岡三大麺普及協議会への負担金のほか、20年ぶりに開催される「ニッポンめんサミット」開催に係る負担金を支出します。

- MICE（マイス）誘致推進事業（観光交流課） 24,000 千円

盛岡市内を主会場とする一定規模以上の国際会議や全国規模のコンベンションなどに対して、開催費用の一部を助成する東北最大の制度による誘致を促進することで、市内の産業活動活性化を目指します。

- 盛岡ブランド確立事業（都市戦略室） 3,393 千円

盛岡ブランドフォーラムの開催や広告宣伝業務等を通じて、市民の盛岡に対する誇りや愛着を醸成するとともに、盛岡の価値や魅力を積極的に市内外に発信し、盛岡ブランドの市内外への一層の浸透を図ります。

- 観光客誘致宣伝事業 1,000 千円
 (誘客重点市場・物産販路新規開拓調査事業) (観光交流課)

北海道新幹線などの開業にあたり、観光目的の入込や物産販路開拓の可能性が高い大都市を誘客重点市場・物産販路の新規開拓先として、観光プロモーションや物産・観光展の開催を視野に、市場調査を行います。

- 観光客誘致宣伝事業（東北六都市連携による誘客・
地域産品プロモーション事業）（観光交流課） 450 千円

東北六魂祭で培った，県庁所在地 6 市，各商工団体の連携を活用し，東北全体の観光振興を推進するため，東北六市連携観光物産フェアに派遣する事業へ負担金を支出します。

- 観光客誘致宣伝事業 1,000 千円
（盛岡市の物産と観光展開催事業）（観光交流課）

盛岡の物産と観光資源を P R するため，平成 21 年度より札幌市で開催し好評を得ている物産展に対する負担金の支出を行います。

- 観光客誘致宣伝事業（盛岡デー開催事業）（観光交流課） 2,600 千円

観光 P R と魅力発信の場として，東京と沖縄県うるま市で継続開催を予定している盛岡デー開催に係る負担金を支出します。

(3) いわて国体おもてなしプロジェクト

1,862,521 千円

秋に開催される「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を成功させるとともに、来盛する方々を「おもてなしの心」で温かく迎え、盛岡の魅力を全国に発信するとともに、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすまちをつくるための戦略プロジェクトです。

具体的な事業名及び事業費

- 第 71 回国民体育大会開催事業（実行委員会補助金）【拡充】
（国体推進局企画総務課） 1,541,857 千円

再び盛岡を訪れていただけるよう、市民総参加による「おもてなし」を積極的に展開し、盛岡の魅力を全国に発信するとともに、競技団体等と連携し競技会の円滑な運営を図り、国体の成功を目指します。

- 盛岡の食材プロモーション事業【拡充】（農政課） 3,688 千円

競技会場での「食のおもてなし」など、国体で全国から来盛する人たちに、盛岡の優れた「食材」の魅力を発信するとともに、市内の飲食店やホテル業などと生産者とのビジネスマッチングを支援し、地場産農畜産物の地産地消を積極的に推進します。

- 国民体育大会開催関連施設整備事業
（施設整備及び施設修繕など）（スポーツ推進課） 232,628 千円

平成 28 年開催の「第 71 回国民体育大会」において競技会場となる総合プールや盛岡南公園球技場について必要な整備や修繕などを行うとともに、国体終了後に現アイスアリーナについて総合アリーナ化するための床改修等の工事を行います。

- 総合アリーナ整備事業（床改修工事等） 170,900 千円
- 総合プール整備事業（メインプール可動床修繕等） 58,928 千円
- 南公園球技場整備事業（屋根避雷設備設置） 2,800 千円

- スポーツ活動機会提供事業（スポーツ・パル事業）
（国体推進局企画総務課） 383 千円

市民協働による国体の成功のために欠かせないボランティアや、国体後にも盛岡市のスポーツ振興に大きな役割を果たす人材の確保、育成を目的に創設した「スポーツパル制度」を運用します。

- 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業（スポーツ推進課） 1,476 千円

2020 東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けた周知啓発として、広域 8 市町が連携し、研修会の開催やパンフレットの作成を行い誘致活動を実施するほか、国体で来県する多くの競技団体関係者に対して PR 活動を展開します。

- 市民運動総括事業（市民協働推進課） 1,489 千円

市民運動推進の中心的役割を担う「あすを築く盛岡市民運動実践協議会」に対し運営費を助成し、国体開催に向けた市民運動の支援を図ります。

- 交通安全施設等整備事業（交付金） 28,000 千円
（盛岡駅前通線／盛岡駅東口駅前広場整備事業）（道路建設課）

国体開催にあたり、盛岡市の玄関口となる盛岡駅東口の交通誘導を分かりやすくするため、駅通路や地下道を含めて駅前広場のサイン設置等を行います。

- 都市公園整備事業（単独）（木伏緑地施設改修整備事業） 45,000 千円
（公園みどり課）

国体開催に向けて、盛岡市の玄関口に位置する木伏緑地について、既存樹木の伐採やベンチの設置、園路の増設等の施設改修を行います。

- 盛岡駅西口バス乗場整備事業（市街地整備課） 8,000 千円

国体のバス輸送において、盛岡駅西口のバス発着機能を強化するため、交通広場 1 階ロータリー部と隣接するバス乗場との連絡通路等を整備します。

5 主な事業

平成 28 年度一般会計当初予算における主な事業については、新しい盛岡市総合計画に掲げる 4 つの基本目標及びその中に位置づけられる小施策のほか、自治体経営の取組に基づく 5 つの方針に沿って分類し、掲載しています。

※ 事業の表記にあたり、次の項目に該当する事業については、事業名の後ろに各々略号を表示しています。また、事業名の後に担当課名を掲載しています。

- ◆ 新規事業 【新規】
- ◆ 戦略プロジェクト事業 【戦略】
- ◆ 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 【創生】
- ◆ 旧玉山村との合併協定に基づく新市建設計画事業 【新市】
- ◆ 旧都南村との合併協定に基づく合併建設計画事業 【合併】
- ◆ 復興推進事業 【復興】

(1) 人がいきいきと暮らすまちづくり

若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うとともに、豊富な経験を持つ高齢者が活躍でき、また、誰もが、心身ともに健やかで充実感を持って安全に暮らすことのできるまちをつくります。

1 地域福祉の推進

- 避難行動要支援者避難支援事業（地域福祉課） 3,812 千円
- 民生委員一斉改選事業【新規】（地域福祉課） 2,138 千円
- 地域福祉計画推進事業（地域福祉課） 286 千円
- 社会福祉法人指導監督等事業（地域福祉課） 11,673 千円
- 臨時福祉給付金支給事業（地域福祉課） 228,872 千円
- 年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業【新規】（地域福祉課） 117,120 千円

2 子ども・子育て、若者への支援

- 青少年施策推進事業（男女共同参画青少年課） 4,917 千円
- 医療費給付事業（妊産婦，乳幼児，小学生）【戦略】 642,097 千円
（医療助成年金課）
（小学生外来医療費給付事業【新規】 149,443 千円）
- 子ども・子育て支援事業計画推進事業【戦略】（子ども未来課） 1,218 千円
- 子どもの生活実態調査事業【新規】（子ども未来課） 1,000 千円

● 子ども未来基金造成事業【新規】【戦略】(子ども未来課)	100,000 千円
● 少子化対策(子育て支援)事業【創生】(子ども未来課)	739 千円
● 私立児童福祉施設等運営事業(子ども未来課)	7,822 千円
● 児童手当支給事業(子ども未来課)	4,308,800 千円
● 児童扶養手当支給事業(子ども未来課)	1,244,424 千円
● 母子家庭等高等職業訓練促進給付金支給事業(子ども未来課)	10,315 千円
● 子育て世代包括支援センター事業【新規】【戦略】 (子育て世代包括支援センター)	10,289 千円
● 地域子育て支援センター事業【新市】 (子育て世代包括支援センター)	60,123 千円
● つどいの広場管理運営事業(子育て世代包括支援センター)	18,640 千円
● 地域児童クラブ等運営事業(子育てあんしん課)	275,224 千円
● 特別保育事業(延長保育実施補助)【戦略】【新市】 (子育てあんしん課)	120,265 千円
● 病児・病後児保育事業(子育てあんしん課)	51,205 千円
● 私立児童福祉施設運営費助成事業(子育てあんしん課) (幼保連携型認定こども園健診円滑化事業(嘱託医契約費補助) 【新規】 467 千円)	143,872 千円
● 私立児童福祉施設整備助成事業【戦略】(子育てあんしん課)	369,249 千円
● 待機児童解消強化事業【戦略】【創生】(子育てあんしん課)	7,215 千円
● 私立児童福祉施設等運営事業(子育てあんしん課) (保育士等処遇改善分【戦略】 122,790 千円)	5,226,484 千円
● 認定こども園等運営費給付事業【戦略】(子育てあんしん課)	1,144,923 千円
● 児童館整備事業(子育てあんしん課) (津志田児童センター増築事業【新規】 11,500 千円)	13,539 千円
● 保育所管理運営事業(子育てあんしん課) (幼保連携型認定こども園健診円滑化事業【新規】 540 千円)	475,783 千円
● 乳児家庭全戸訪問等事業【戦略】(子育て世代包括支援センター)	4,959 千円
● 小児救急輪番制病院事業【戦略】(保健所企画総務課)	154,182 千円
● 母子保健事業(健康推進課)	230,081 千円
● 乳幼児健康診査事業【新市】(健康推進課)	109,308 千円
● 小児慢性特定疾病対策事業(健康推進課) (小児慢性特定疾病指定医育成研修【新規】 90 千円)	109,118 千円

3 高齢者福祉の充実

● 老人福祉施設整備助成事業(介護保険課)	547,279 千円
● 老人福祉施設開設準備経費助成事業(介護保険課)	56,254 千円
● 介護従事者確保事業(介護保険課)	1,962 千円

- 敬老バス運行事業（長寿社会課） 24,740 千円
- 高齢者権利擁護等推進事業【新規】（長寿社会課） 330 千円
- 老人福祉センター施設整備事業（長寿社会課） 135,224 千円
（みたけ老人福祉センター建設事業【新規】 134,100 千円）

4 健康づくり・医療の充実

- 後期高齢者医療健診事業（健康保険課） 126,585 千円
- 後期高齢者医療歯科健診事業（健康保険課） 1,402 千円
- 後期高齢者医療療養給付費負担金（健康保険課） 2,487,000 千円
- 後期高齢者医療広域連合分担金（健康保険課） 88,376 千円
- 第二次救急医療事業【新市】（保健所企画総務課） 130,930 千円
- 夜間急患診療所管理運営事業【戦略】（保健所企画総務課） 70,929 千円
- 成人健康診査事業【新市】（健康推進課） 424,200 千円
（胃がん検診内視鏡検査導入経費【新規】 1,222 千円）
- 感染症予防事業（保健予防課） 23,504 千円
- 予防接種事業（保健予防課） 773,121 千円
（小学生インフルエンザ予防接種補助金【新規】【戦略】 15,000 千円）
（幼児インフルエンザ予防接種補助金【戦略】 16,814 千円）
- 食品衛生指導事業（生活衛生課） 7,701 千円
- 余熱利用健康増進センター管理運営事業（クリーンセンター） 75,235 千円
- 成人健康診査事業【新市】（健康福祉課） 11,270 千円

5 障がい者福祉の充実

- 障がい者相談支援事業（障がい福祉課） 34,076 千円
- 介護給付等給付事業（障がい福祉課） 2,726,807 千円
- 訓練等給付事業（障がい福祉課） 1,928,987 千円
- 地域生活支援事業（障がい福祉課） 241,703 千円
- 福祉タクシー及びガソリン助成事業（障がい福祉課） 37,216 千円
（福祉ガソリン助成事業【新規】 5,053 千円）

6 生活困窮者への支援

- 生活保護受給者等就労支援事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 25,606 千円
（就労準備支援事業【新規】 5,024 千円）
- 自立相談支援事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 30,000 千円
- 学習支援事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 11,230 千円

● 住居確保給付金支給事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課）	3,315 千円
● 生活保護事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課）	7,909,774 千円
● 被災住宅補修支援事業【復興】（建築住宅課）	21,380 千円
● 被災者住宅再建支援事業【復興】（建築住宅課）	30,000 千円
● 公営住宅建設事業（青山二・三丁目アパート）（建築住宅課）	777,968 千円

7 人権尊重・男女共同参画の推進

● 配偶者等暴力防止事業（男女共同参画青少年課）	3,192 千円
--------------------------	----------

8 安全・安心な暮らしの確保

● 交通指導員活動事業（くらしの安全課）	43,605 千円
● 交通安全啓発事業（くらしの安全課）	4,748 千円
● 交通安全教育事業（くらしの安全課）	9,493 千円
● 防犯活動事業（くらしの安全課）	5,685 千円
● 空き家等適正管理事業（くらしの安全課）	2,857 千円
● 消費者行政推進事業（消費生活センター）	58,447 千円
● 消費者行政活性化事業（消費生活センター）	7,116 千円
● 計量行政推進事業（消費生活センター）	2,948 千円
● 急傾斜地崩壊対策事業（河川課）	
■ 繫地区【新規】	6,000 千円
■ 山岸地区【新規】	3,000 千円
● 河川等維持管理事業（河川課）	38,147 千円
● 河川改良事業（河川課）	
■ 大葛川	12,000 千円
■ 広川【合併】	3,000 千円
■ 南川	294,400 千円
■ 沢口川	15,000 千円
■ 大沢川， 縮沢川	182,000 千円
● 危機管理防災事業（危機管理防災課）	16,421 千円
● 防災施設整備事業（危機管理防災課）	
（災害用備蓄品の購入（アルファ米化・生理用品） 1,383 千円）	8,404 千円
（防災ラジオの購入【新規】 3,000 千円）	
（玉山区防災行政無線老朽化調査・基本設計【新規】 3,867 千円）	
● 自主防災組織育成事業（消防対策室）	10,039 千円
● 広域消防組合事業費に対する常備消防費負担金（消防対策室）	2,951,316 千円
● 消防団管理事務（消防対策室）	202,402 千円
（消防団員活動服等の購入 22,000 千円）	

- 消防施設整備事業（消防対策室） 84,876 千円
 （消防ポンプ自動車購入（本宮・津志田（野田）地区）【新規】 34,878 千円）
 （小型動力ポンプ付積載車購入（町村・矢沢地区）【新規】 16,476 千円）
 （築川消防屯所建設事業 25,022 千円）
 （築川消防屯所建設に係る築川地区振興センター体育館解体【新規】 8,500 千円）
- 広域消防組合事業費に対する消防施設費負担金（消防対策室） 464,078 千円

9 地域コミュニティの維持・活性化

- 地区行政事務（市民協働推進課） 81,606 千円
 （協働推進奨励金【新規】 78,786 千円）
- 公衆街路灯関連事業（市民協働推進課） 139,100 千円
 （公衆街路灯 LED 化に係る調査業務委託【新規】 48,000 千円）
 （盛岡市街灯設置費補助金 6,500 千円）
 （盛岡市認定公衆街路灯電気料給付金等 84,600 千円）
- コミュニティ推進事業（市民協働推進課） 11,785 千円
 （コミュニティ活動費補助金 2,400 千円）
- 市民運動総括事業（市民協働推進課） 1,489 千円
 （あすを築く盛岡市民運動実践協議会事業補助金【戦略】 1,471 千円）
- 地域協働推進事業（市民協働推進課） 13,100 千円
 （地域づくり事業補助金 12,600 千円）
- コミュニティ施設管理運営事業（玉山総合事務所総務課） 6,806 千円

10 生活環境の保全

- 公害防止対策事業（環境企画課） 25,479 千円
- リサイクルセンター施設整備事業（廃棄物対策課） 41,080 千円
- 旧清掃工場跡地整備事業【新規】（廃棄物対策課） 15,000 千円
- 県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進事業（ごみ処理広域化推進室） 20,889 千円
- 塵芥収集運搬委託事業（資源循環推進課） 469,676 千円
- 廃棄物処分場管理運営事業（リサイクルセンター） 146,512 千円
 （供給フィーダ交換修繕【新規】 13,000 千円）
- クリーンセンター設備改修事業（クリーンセンター） 202,590 千円
- 動物愛護事業（生活衛生課） 8,960 千円

(2) 盛岡の魅力があふれるまちづくり

盛岡を行き交う交流人口を増やし、にぎわいを創出していくため、雄大な自然や美しい景観、城下町の歴史、芸術文化、スポーツ、温かい人情など、盛岡の魅力を守り育てるとともに、まちづくりにいかし、盛岡らしさが光る、魅力あふれるまちをつくれます。

11 歴史・文化の継承

- 文化財保護事業（歴史文化課） 11,095 千円
- 志波城跡保存整備・用地取得事業（歴史文化課） 67,324 千円
- 玉山歴史民俗資料館管理運営事業（歴史文化課） 311 千円
（玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備の検討【新市】 173 千円）

12 芸術文化の振興

- 芸術文化活動振興事業【新市】（文化国際室） 6,682 千円
（盛岡文士劇東京公演共催負担金【新規】 3,500 千円）
- 文化会館管理運営事業（文化国際室） 687,352 千円
- 文化会館活動事業【新市】（文化国際室） 26,314 千円

13 スポーツの推進

- 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業【戦略】【創生】 1,476 千円
（スポーツ推進課）
- スポーツ活動機会提供事業（スポーツ推進課） 781 千円
- 競技大会等開催事業（スポーツ推進課） 5,769 千円
- 体育施設管理運営事業（スポーツ推進課） 454,740 千円
- 総合アリーナ整備事業【戦略】【新市】（スポーツ推進課） 170,900 千円
- 総合プール整備事業【戦略】（スポーツ推進課） 58,928 千円
- 南公園球技場整備事業【戦略】（スポーツ推進課） 2,800 千円
- 洪民運動公園整備事業【新市】（スポーツ推進課） 454,150 千円
- 第71回国民体育大会開催事業（国体推進局企画総務課） 1,550,000 千円
（実行委員会補助金【戦略】 1,541,857 千円）
- スポーツ活動機会提供事業【戦略】（国体推進局企画総務課） 383 千円

14 「盛岡ブランド」の展開

- 盛岡ブランド確立事業【戦略】【創生】【新市】（都市戦略室） 3,393 千円

15 良好な景観の形成

- 都市景観形成指導事業【新市】（景観政策課） 1,442 千円
- 屋外広告物事務（景観政策課） 3,233 千円
- 景観計画推進事業（景観政策課） 1,105 千円

16 計画的な土地利用の推進

- 開発行為等に関する事務（都市計画課） 6,709 千円
（大規模盛土造成地変動予測調査業務二次スクリーニング
計画作成 6,448 千円）

(3) 人を育み未来へつなぐまちづくり

長い歴史とともに築いてきた文化や環境などを次世代に引き継ぐため、未来の盛岡を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちをつくります。

また、環境への意識が高まる中、豊かな自然環境と快適な都市機能との調和が続く、持続可能なまちをつくります。

17 子どもの教育の充実

- 小学校に係る事業
 - 学校管理事務（教育委員会総務課） 1,371,924 千円
 - 土淵小・中学校一貫教育導入施設整備事業（教育委員会総務課） 196,710 千円
 - 向中野小学校施設整備事業（教育委員会総務課） 284,472 千円
 - 学校給食運営事業（学務教職員課） 52,763 千円
 - 学校配分事務（学校教育課） 99,657 千円

- 中学校に係る事業
 - 学校管理事務（教育委員会総務課） 398,571 千円
 - 巻堀中学校施設整備事業【新市】（教育委員会総務課） 406,755 千円
 - 仙北中学校施設整備事業（教育委員会総務課） 309,810 千円
 - 城西中学校屋内運動場改築事業【新市】（教育委員会総務課） 80,413 千円
 - 学校施設防災対策事業【新規】（教育委員会総務課） 6,600 千円
 - 学校管理事務（学務教職員課） 43,778 千円
（スクールバス運行本数増【新規】 2,700 千円）
 - 学校給食運営事業（学務教職員課） 64,235 千円
（北陵中ランチボックス給食実施準備【新規】 11,099 千円）
 - 教育振興事業（学務教職員課） 83,287 千円
（就学援助費（準要保護費目追加）【新規】 6,041 千円）
 - 学校配分事務（学校教育課） 72,786 千円
 - 教育振興事業（学校教育課） 38,927 千円
（教師用教科書・指導書給与 36,288 千円）

- 学校情報化推進事業（教育委員会総務課） 53,437 千円
- （仮称）盛岡学校給食センター建設事業【新規】（学務教職員課） 8,800 千円
- 生徒指導強化推進事業（学校教育課） 48,782 千円
 - （生徒指導強化推進事業 1,023 千円）
 - （スクールサポート事業 35,840 千円）
 - （地域ぐるみの学校安全推進事業 2,019 千円）
 - （不登校生徒等対策事業 9,900 千円）

- 先人教育推進事業（学校教育課） 521 千円

- 教育振興運動事業（学校教育課） 1,849 千円
（盛岡市学校文化活動振興補助金【新規】 300 千円）
- 教育研修事業（教育研究所） 9,364 千円
- 学力向上・部活動強化推進事業（市立高校） 900 千円

18 生涯学習の推進

- 社会教育促進事業【新市】（生涯学習課） 3,891 千円
- （仮称）見前南地区公民館整備事業【合併】（生涯学習課） 339,440 千円
- 薮川地区公民館移転整備事業【新規】（生涯学習課） 17,300 千円
- 少年自然の家施設整備事業【新規】（生涯学習課） 31,200 千円
- 子ども科学館管理運営事業（生涯学習課） 157,620 千円

19 社会を担う人材の育成・支援

- 若者の就業支援事業（経済企画課） 11,723 千円
（ジョブカフェいわて運營業務委託事業 5,039 千円）
（若者サポートステーション事業 4,536 千円）
（新社会人就職定着支援事業 1,944 千円）

20 地球環境の保全と自然との共生

- 自然環境等保全事業（環境企画課） 1,317 千円
- 地球環境啓発事業（環境企画課） 6,772 千円
- 地球温暖化対策実行計画推進事業（環境企画課） 17,543 千円
（太陽光発電システム設置費補助金 14,800 千円）
- 生出地域エコタウン事業【新市】（環境企画課） 580 千円
- 容器包装リサイクル推進事業（資源循環推進課） 5,394 千円
- ごみ減量等啓発事業（資源循環推進課） 5,832 千円
- 地域循環型生ごみ処理推進事業（資源循環推進課） 1,623 千円
- きれいなまち推進事業（資源循環推進課） 31,239 千円
- 清掃思想啓発事業（資源循環推進課） 3,338 千円
- 資源ごみ分別作業所管理運営事業（リサイクルセンター） 45,182 千円
（減容器加圧シリンダ交換修繕【新規】 1,890 千円）

(4) 人が集い活力を生むまちづくり

人口減少、少子高齢社会の進行とともに、地方の衰退が懸念されている中であっても、活力を生み出し、拠点都市としての役割を十分に果たしていくため、産業の振興や中心市街地の活性化を図るとともに、高次の都市機能の集積を推進し、求心力のあるまちをつくります。

また、国際化が進展する中で、世界に通用する優れた人材を育むとともに、多文化共生のまちづくりを進め、世界に開かれた、活力を生むまちをつくります。

21 農林業の振興

● 水田農業構造改革事業（農政課）	15,698 千円
● いわて地域農業マスタープラン実践支援事業（農政課）	8,200 千円
● 果樹産地化事業（農政課）	570 千円
● 有害鳥獣対策事業（農政課）	3,847 千円
● 中山間地域等直接支払事業（農政課）	16,637 千円
● 盛岡の食材プロモーション事業【戦略】（農政課）	3,688 千円
● 畜産振興事業（農政課）	10,792 千円
● 農業基盤整備事業（農政課）	95,070 千円
（基幹水利施設ストックマネジメント事業 太田第一地区負担金 5,250 千円）	
（県営ほ場整備事業 武道地区負担金【新市】 4,700 千円）	
（農村災害対策整備事業岩手山麓地区負担金 2,357 千円）	
（かんがい排水事業鹿妻新堰地区負担金 11,880 千円）	
（かんがい排水事業太田堰地区負担金 8,800 千円）	
（農道整備事業 手代森3期地区負担金 2,800 千円）	
（国営造成施設管理体制整備促進事業 2,238 千円）	
（農道整備事業 巻堀2期地区負担金【新市】 11,340 千円）	
（県営土地改良調査事業 松川大堰地区負担金【新規】【新市】 3,436 千円）	
（好摩地区かんがい排水事業【新市】 4,700 千円）	
● 環境保全型農業直接支払交付金事業（農政課）	17,398 千円
● 多面的機能支払交付金事業（農政課）	180,796 千円
● 市産材利用拡大推進事業【新市】（林政課）	637 千円
（木造施設設置等原材料支給事業 500 千円）	
● 市産材利用住宅支援事業（林政課）	2,500 千円
● 森林適正管理推進事業【新市】（林政課）	18,130 千円
● マツクイムシ被害防止対策事業（林政課）	9,586 千円
● 市有林造成事業（補助）【新市】（林政課）	27,515 千円
● 市有林造成事業（単独）【新市】（林政課）	35,314 千円
● 林道橋りょう補修事業（補助）（林政課）	46,500 千円

● 有機物資源活用施設管理運営事業（産業振興課）	11,926 千円
● 中山間地域等直接支払事業（産業振興課）	38,884 千円
● 畜産振興事業（産業振興課）	11,514 千円
● 多面的機能支払交付金事業（産業振興課）	75,197 千円
● マツクイムシ被害防止対策事業（産業振興課）	7,208 千円
● 市有林造成事業（補助）（産業振興課）	864 千円
● 国土調査事業（補助）（林政課）	40,000 千円
（地籍調査測量業務委託料 36,073 千円）	

22 商業・サービス業の振興

● 商店街活性化支援事業（経済企画課）	8,681 千円
（地域共通ポイント発行事業【新規】 425 千円）	
● 商工団体育成事業（経済企画課）	35,560 千円
● 盛岡三大麺普及事業【戦略】（経済企画課）	795 千円
（ニッポンめんサミット負担金【新規】 500 千円）	
● まちなかマッチング事業【新規】【創生】（経済企画課）	7,000 千円

23 工業の振興

● 工業振興事業（ものづくり推進課）	16,047 千円
（製造業水道料金助成事業補助金 9,000 千円）	
● 工場新設拡充等事業（ものづくり推進課）	54,908 千円
● 盛岡手づくり村振興事業（ものづくり推進課）	50,715 千円
● 産業支援センター管理運営事業（ものづくり推進課）	16,143 千円
● 産業支援事業（ものづくり推進課）	2,382 千円
（クリエイティブ産業育成支援事業補助【新規】【創生】 1,000 千円）	
● 産学官連携研究センター管理運営事業（ものづくり推進課）	18,746 千円
● 新事業創出支援センター管理運営事業（ものづくり推進課）	7,715 千円
● 金融対策事業（ものづくり推進課）	261,470 千円
● 特定被災地域復旧緊急支援事業（ものづくり推進課）	1,430 千円
● 特定被災地域復旧緊急支援事業（単独）（ものづくり推進課）	87 千円

24 観光の振興

● 盛岡市産業まつり開催事業（ものづくり推進課）	2,185 千円
● 歴史的街並み保存活用事業（観光交流課）	4,800 千円
● 観光客誘致宣伝事業（観光交流課）	19,536 千円
（北海道新幹線開業による函館誘客事業【戦略】 1,537 千円）	

(誘客重点市場・物産販路開拓調査事業【戦略】 1,000 千円)	
(東北六都市連携によるプロモーション事業【戦略】 450 千円)	
● 大型観光キャンペーン事業 (観光交流課)	4,184 千円
(東北六魂祭派遣事業負担金【復興】 3,000 千円)	
● まつり・イベント振興事業 (観光交流課)	46,145 千円
● もりおか町家物語館管理運営事業 (観光交流課)	34,950 千円
● M I C E (マイス) 誘致推進事業【戦略】【創生】 (観光交流課)	24,000 千円
● 盛岡芸妓育成事業【創生】 (観光交流課)	1,000 千円
● 教育旅行誘致推進事業【新規】【創生】 (観光交流課)	5,600 千円
● 道の駅設置事業【新市】 (玉山総合事務所総務課)	6,602 千円
(基本計画作成業務委託【新規】 6,400 千円)	
● 桜の里整備事業【新市】 (産業振興課)	105,100 千円
● まつり・イベント振興事業 (産業振興課)	8,990 千円

25 雇用の創出

● 勤労者対策事業 (経済企画課)	74,662 千円
● 雇用対策推進事業 (経済企画課)	1,574 千円
● U I J ターン就職支援事業【新規】【創生】 (経済企画課)	9,000 千円

26 都市基盤施設の維持・強化

● 飲用井戸等整備補助事業【新規】【新市】 (環境企画課)	30,000 千円
● 道路橋りょう維持管理事業 (道路管理課)	584,020 千円
● 道路除排雪事業 (道路管理課)	605,573 千円
● 除雪機械整備事業 (道路管理課)	17,969 千円
(ホイールローダ・小型除雪機購入)	
● 道路新設改良事業	
■ 岩手公園開運橋線道路整備事業 (道路建設課)	80,000 千円
■ 二子沢線【新市】 (道路建設課)	61,500 千円
■ 尻志田線【新市】 (農政課)	64,000 千円
■ 生活環境整備事業	
◆ 都南中央第二地区【合併】 (盛岡南整備課)	65,084 千円
◆ 都南中央第三地区【合併】 (盛岡南整備課)	99,600 千円
◆ 道明地区 (盛岡南整備課)	271,671 千円
◆ 下飯岡地区 (盛岡南整備課)	6,516 千円
◆ 下太田地区 (市街地整備課)	46,415 千円
● 広域圏道路新設整備事業 (道路建設課)	
■ 津志田白沢線	41,100 千円

■ 岩手飯岡駅南公園線外1路線【新市】	65,200千円
■ 東中野門線	46,000千円
■ 新幹線側道2号線外1路線	20,400千円
■ 東中野14号線	40,530千円
■ 谷地頭線（厨川工区）	20,000千円
■ 三本柳線【合併】	66,400千円
■ 永井街道線【新規】	5,000千円
■ 下田生出線（生出工区）【新市】	74,370千円
■ 下田生出線（下田工区）【新規】【新市】	10,000千円
■ 渋民東線【新市】	50,500千円
■ 一の渡岩洞湖線【新市】	98,300千円
■ 虫壁線【合併】	35,000千円
■ 割船線【合併】	20,000千円
● 橋りょう維持補修事業（道路管理課）	414,569千円
（橋りょう定期点検業務委託【新規】55,500千円）	
● 交通安全施設等整備事業（道路建設課）	
■ 盛岡駅前通線（盛岡駅東口駅前広場）【戦略】	28,000千円
■ 高櫓線	122,500千円
■ 南大通一丁目5号線外	86,400千円
■ 岩山2号線	102,000千円
■ 本町通二丁目上田四丁目線	74,700千円
■ 繫26号線	60,800千円
■ 西部線外	40,500千円
■ 本町通一丁目名乗沢2号線（山岸六丁目）	121,800千円
■ 南大橋明治橋線	71,600千円
■ 本町通一丁目名乗沢2号線（山岸二丁目）	37,900千円
■ 南大通二丁目南大橋線外	43,000千円
■ 岩手飯岡駅東西線自由通路【新市】	50,424千円
■ みたけ4号線（第二工区）	42,000千円
■ 新庄1号線【新規】	5,000千円
■ 好摩永井線【新市】	28,000千円
■ 柴沢下田線【新市】	102,000千円
■ 渋民好摩線【新市】	70,520千円
■ 好摩西地区計画道路（好摩芋田向線）【新市】	10,000千円
■ 榊沢橋線【新市】	122,800千円
■ その他交通安全施設	20,500千円
● 土地区画整理事業	
■ 道明地区（盛岡南整備課）	362,042千円
■ 都南中央第三地区【合併】（盛岡南整備課）	260,230千円

■ 太田地区（市街地整備課）	1,423,678 千円
● 花と緑のまちづくり事業（公園みどり課）	19,641 千円
（花と緑のガーデン都市づくり事業 11,836 千円）	
● お城を中心としたまちづくり事業（公園みどり課）	44,845 千円
● 公園整備事業（公園みどり課）	
■ 都市公園整備事業	535,794 千円
（中央公園，高松公園，岩山公園，盛岡南地区等）	
■ 木伏緑地施設改修整備事業【戦略】	45,000 千円
■ 旧盛岡競馬場跡地整備事業	338,951 千円
● 盛岡南地区都市開発整備事業（盛岡南整備課）	201,836 千円
● 優良建築物等整備事業（市街地整備課）	13,000 千円
（中央通三丁目地区【新規】 13,000 千円）	
● 建築指導事務（建築指導課）	3,674 千円
● 既存建築物耐震診断・改修促進事業（建築指導課）	2,303 千円
（木造住宅耐震診断支援 417 千円）	
（木造住宅耐震改修支援 1,851 千円）	
● 道路橋りょう維持管理事業（玉山総合事務所建設課）	35,710 千円
● 道路除排雪事業（玉山総合事務所建設課）	43,707 千円
● 市道舗装二次改築事業（玉山総合事務所建設課）	
■ 日戸柴沢線	7,500 千円
■ 釘の平線	9,000 千円
■ 前田岩洞湖線【新規】	15,000 千円
● 市道舗装新設改良事業（玉山総合事務所建設課）	
■ 渋民駅北地区整備事業【新規】【新市】	10,000 千円
■ 好摩駅西地区整備事業【新規】【新市】	25,000 千円
■ 市道野中団地（玉山総合事務所建設課）	25,000 千円
● 除雪機械整備事業【新規】（玉山総合事務所建設課）	23,000 千円
（ホイールローダ購入）	
● 社会資本整備総合交付金事業（玉山総合事務所建設課）	
■ 芋田線歩道設置工事	10,000 千円
■ 川崎芋田向線法面復旧工事【新規】	27,900 千円

27 交通環境の構築

● 街路事業（道路建設課）	
■ 梨木町上米内線【新市】	358,000 千円
■ 盛岡駅南大通線（大沢川原）【新市】	106,400 千円
■ 盛岡駅青山線（前九年Ⅱ）【新市】	60,000 千円
■ 明治橋大沢川原線【新市】	276,700 千円

■ 上厨川厨川五丁目線【新市】	40,000 千円
■ 県営街路事業負担金（盛岡駅長田町線，盛岡駅本宮線）	5,645 千円
● バス関連事務（交通政策課） （「まちなか・おでかけパス」事業 50,000 千円）	58,358 千円
● 放置自転車等対策事業（交通政策課）	40,444 千円
● 公共交通利用促進対策事業（交通政策課）	7,700 千円
● 盛岡駅西口バス乗場整備事業【戦略】（市街地整備課）	8,000 千円
● 鉄道関連事務（玉山総合事務所総務課） （IGRいわて銀河鉄道通学定期購入費補助金 1,892 千円）	1,892 千円

28 国際化の推進

● 国際リニアコライダー誘致推進事業（国際リニアコライダー推進事務局）	543 千円
● 姉妹都市等国際交流事業【新市】（文化国際室）	11,704 千円
● 国際交流関係事業（学校教育課） （アールム大学学生交流等 1,962 千円） （外国人英語指導講師招へい 30,529 千円）	32,491 千円

29 都市間交流の促進

● 地域連携交流事業（企画調整課）	111 千円
● 南部首長会議事務（企画調整課） （子どもサミット開催に係る負担金等 119 千円）	186 千円

(5) 自治体経営の取組

総合計画の将来像の実現のため、成果向上に向けた多様な主体との連携の強化や低コストで高品質の市民サービスを提供するという、自治体経営の考え方を基本としたまちづくりを進めます。

方針1 市民参画や協働によるまちづくり

- 市政広報活動事業（広聴広報課） 73,176 千円

方針2 経営資源配分の最適化

- 庁舎管理事務（管財課） 640,268 千円
（若園町分庁舎改修工事【新規】 250,000 千円）
- 市庁舎整備推進事務（管財課） 200,000 千円
（盛岡市市庁舎整備基金積立金 200,000 千円）
- 電子入札システム運用事業（契約検査課） 4,349 千円
- アセットマネジメント推進事務（資産管理活用事務局） 134,006 千円
（固定資産台帳整備業務委託【新規】 60,000 千円）
- 庁舎管理事務（都南総合支所） 145,959 千円
（冷房設置工事【新規】 87,800 千円）

方針3 健全な財政運営の実現

- 収納率向上対策事業（納税課） 37,903 千円
- 市有土地活用事務（管財課） 2,005 千円
- もりおか元気応援寄附金推進事業【新規】（ものづくり推進課） 37,380 千円

方針4 信頼される市政の確立

- 職員採用事務（職員課） 988 千円
- 職員研修事務（職員課） 4,934 千円
- 派遣研修事務（職員課） 4,597 千円

方針5 自立した経営の推進

- 連携中枢都市推進事業（都市戦略室） 150 千円



2016
希望郷 **いわて国体**

第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016
希望郷 **いわて大会**

第16回全国障害者スポーツ大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

〒020-8530

岩手県盛岡市内丸12番2号

盛岡市財政部財政課

019-626-7515